

2024 年 9 月 30 日

各 位

住友化学株式会社
住友ファーマ株式会社再生・細胞医薬分野の CDMO 事業会社の出資比率変更について

住友化学株式会社(本社:東京都中央区)と住友ファーマ株式会社(本社:大阪府吹田市)は、再生・細胞医薬分野の製法開発、製造などの受託(Contract Development and Manufacturing Organization、以下「CDMO」)事業を行う合併会社 S-RACMO 株式会社(エスラクモ。以下「S-RACMO」)への出資比率を 2024 年 10 月 1 日付で変更し、住友化学が 49%から 66.6%に持分比率を高め、事業運営を主導することに合意しましたので、お知らせいたします。

細胞治療の分野は、2022 年時点で市場規模は約 20 億米ドル、今後も年率 10-15%の急速な伸びが見込まれています。こうしたなか、2020 年に設立、営業開始した S-RACMO は、住友化学が有する iPS/ES 細胞の基盤技術や医薬品の受託製造に関するノウハウと、住友ファーマが再生・細胞医薬事業における長年の研究および複数のプロジェクトで培った高度な製法開発や製剤開発などのノウハウを活用し、再生・細胞医薬の CDMO に関わるケイパビリティの蓄積および高度化に取り組んできています。2021 年に竣工した製造棟に加え、2025 年竣工予定の製造新棟を建設中であり、損益面でも 2021 年度以降 3 期連続の黒字、増益を達成するなど、順調に事業拡大を進めてまいりました。

住友化学は、経営戦略説明会(2024 年 4 月 30 日実施)において公表いたしました通り、低分子医薬原薬・中間体および再生・細胞医療の CDMO 事業をはじめとした先端医療関連事業を新成長領域のコアとし、次世代の成長ドライバーとすべく事業育成を進めています。本件は再生・細胞医療の CDMO 事業の早期育成に対する住友化学のコミットメントを示すものであり、今後、住友化学が主導することで、現在 S-RACMO が建設中の再生・細胞医薬製造新棟活用、米国進出などを加速してまいります。

また、住友ファーマは、再生・細胞医薬事業において、iPS 細胞を用いた細胞製品開発の「フロントランナー」として、世界初の iPS 細胞由来製品の上市を目指しています。住友化学および住友ファーマの両社は、こうした再生・細胞医薬の研究開発、ならびに、製造・販売体制に関してもグループシナジーの最大化を図るため、2024 年度中に共同の新会社を設立することを計画しております。詳細が確定しましたら適切な時期に公表する予定です。

再生・細胞医薬分野の CDMO 事業会社の概要

会社名	S-RACMO 株式会社 ※「S-RACMO」(エスラクモ)は、「Sumitomo」と「Regenerative And Cellular Medicine Organization」を組み合わせた造語です。
所在地	大阪府吹田市江の木町 33-94(住友ファーマの総合研究所内)
代表者	代表取締役社長 土田 敦之
事業内容	再生・細胞医薬分野の製法開発、製造などの受託
資本金	5,000 万円
設立年月日	2020 年 9 月 1 日
株主構成	住友化学 66.6%、住友ファーマ 33.4%(2024 年 10 月 1 日以降)

建設中の再生・細胞医薬製造新棟の概要

所在地	大阪府吹田市江の木町 33-94(住友ファーマの総合研究所内)
規模	2 階建て
延床面積	約 1,800 m ²
着工	2024 年 7 月
完成	2025 年 7 月(予定)

以 上

○本件に関するお問い合わせ先

・住友化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail: sumika-kouhou@ya.sumitomo-chem.co.jp TEL: 03-5201-0220

・住友ファーマ株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail: prir@sumitomo-pharma.co.jp